

★八十兆円・四千人・八万人・十六万人

ーイラク戦争から五年、失ったもの、得たものー

★イラク戦争から五年

◆二〇〇三年三月に始まったイラク戦争、今年三月二十日で五年が経ちました。その間、米軍の死者四千人、イラク民間人死者八万人、現在も駐留している米兵十六万人、そして使った戦費が八十兆円となりました。

◆しかし、イラクの治安は回復せず、テロの多発により帰るところのない難民はいまも三百六十七万人もいます。

★大義なき戦争だった

◆この戦争は、アメリカがイラクを「大量破壊兵器を持っている、アルカイダとつながりがある、核兵器を開発している」国だと決めつけて始めた戦争です。

◆しかし、それらの事実は何一つありませんでした。大義なき戦争でした。

★つぎ込んだものはすべてマイナスに

◆9・11事件で亡くなった人は2983人。一方この戦争で亡くなったアメリカの兵士は四千人を超えました。

◆そして、つぎ込んだ戦費は八十兆円（日本の国家予算と同じ！）を超えました。これだけの犠牲者とお金をつぎ込んで何を得了のでしょうか？テロはなくなりまししたか？世界は平和になりましたか？

★武力で平和は創れない

◆この戦争で得たものは一つもありませんでした。唯一得られたものは（武力で平和は創れない）ことがわかった事です。

◆八十兆円のお金、四千人の人を平和のためにつぎ込んでいたら、この世界は全く違ったものとなっていた事でしょう。

歩き続けて四十一年！

二〇〇八年四月十三日（日） 第四九四回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一〜一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

【お知らせ】

五月三日（土）憲法記念日のつどい（浜松・憲法九条の会主催）

講演会

「考えよう、憲法9条からみた今の自衛隊は・・・」

講師

内藤 功（弁護士・長沼ナイキ訴訟弁護団・元参議院議員）

場所・時間 浜松市地域情報センター・午前十時開会

★二〇〇八年四月十三日 護憲平和行進 アツピール

◇ご通行中の皆さん、ドライブバーの皆さん、こんにちには！
こちらは歩き続けて四一年、浜松市憲法を守る会の第四九四回の護憲平和行進です。

◇今日は、イラク戦争から五年、あの戦争は何だったのか、あの戦争から得たもの、失ったものを皆さんにお伝えしています。

◇八〇兆円・四千人・八万人・十六万人・・・この数字は何を意味するのでしょうか？
この戦争にアメリカがすぎ込んだお金が八〇兆円（これは日本の一年間の国の総予算と同じ額です）。

◇そして、亡くなったアメリカの兵士の数が四千人以上、イラクの亡くなった民間の人が八万人です。そして、今も家に帰る事の出来ない難民が三百六十七万人もいます。

◇泥沼化したイラクの国には、まだアメリカ兵が十六万人も駐留しています。これがこの戦争の現実です。

◇もともと、この戦争には大義、つまり正義などありませんでした。
アメリカは「イラクという国は、大量破壊兵器を持っている、アルカイダと関係がある、核兵器を作っている国だ」と言って攻めて行きました。

◇ところが行ってみると、そんなものは一つもありませんでした。

◇9・11の犠牲者の仇かたきをとると言ってお出かけしましたが、9・11の犠牲者2983人よりも多い4千人の兵士がなくなりました。

◇つまり、この戦争から得たものは一つもありませんでした。
皆さんにお聞きます。この戦争でテロはなくなりましたか？世界は平和になりましたか？貧困はなくなりましたか？

◇すべてはマイナスでした。
あえて、得たものをあげるとすれば「武力では平和は創れない」という教訓でした。

◇八〇兆円のお金、なくなった4千人の命を平和のためにつき込んでいたら、この世界は全く違った者になっていった事でしょう。

◇今こそ、日本の平和憲法が見直されるべき時です。そして、世界が今日覚め始めました。「武力で平和は創れない」と・・・。